

平成27年11月18日
(対象期間：平成26年11月1日～平成27年10月31日)

エコアクション21 環境活動レポート



<本社>

〒417-0061

静岡県富士市伝法945-4

TEL : 0545-71-8191

FAX : 0545-71-8255

E-Mail : fuyo-bus.2005@cy.tnc.ne.jp

目次

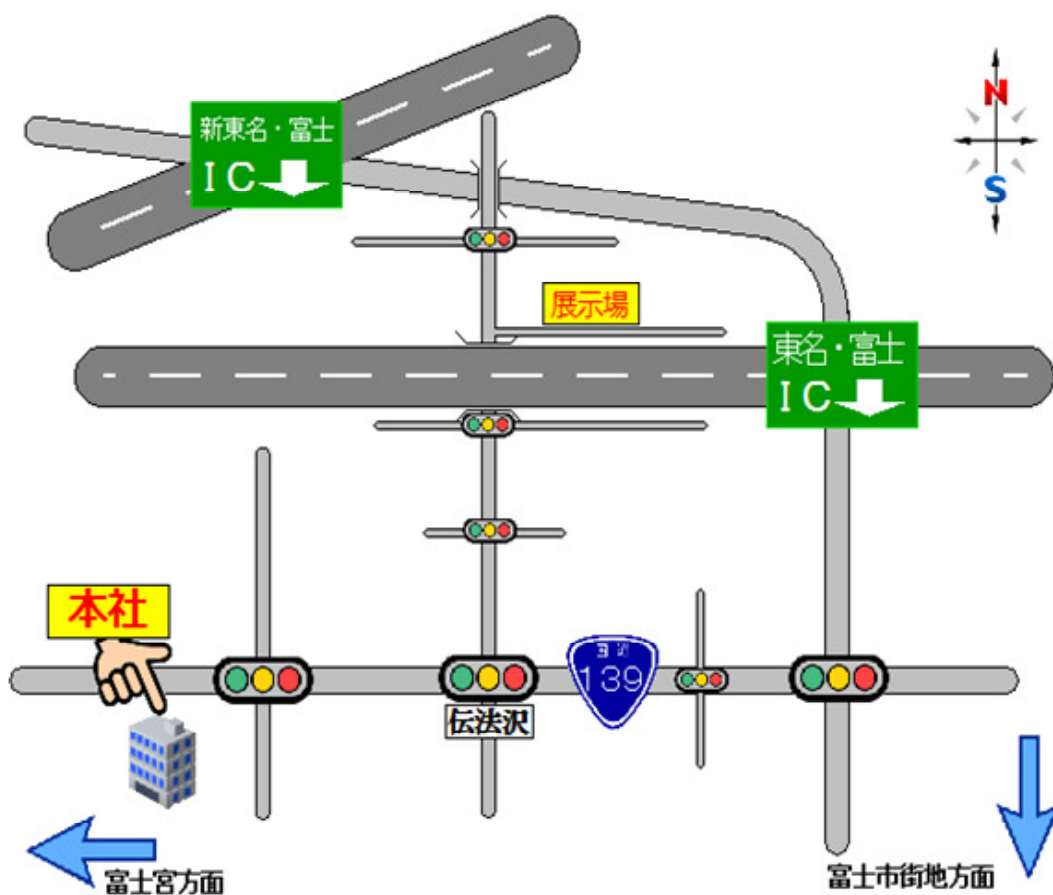
- [1] 組織の概要
- [2] 対象範囲、対象期間、推進組織、役割分担
- [3] 環境方針
- [4] 環境目標
- [5] 環境活動計画（次年度分含む）
- [6] 環境活動計画の取組結果とその評価
- [7] 環境目標の達成状況（実績）
- [8] 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- [9] 環境上の緊急事態への準備及び対応
- [10] 代表者による全体評価と見直し
- [11] 環境への取り組み

[1] 組織の概要

- (1) 会社名 芙蓉バス販売株式会社
- (2) 代表者名 代表取締役社長 遠藤 敬明
- (3) 所在地 ①本社 社：〒417-0061 静岡県富士市伝法945-4
 ②第二展示場：〒417-0061 静岡県富士市伝法404-1
 ③第三展示場：〒417-0809 静岡県富士市中野622-1
- (4) 設立日 平成18年1月26日
- (5) 資本金 1,000万円
- (6) 事業内容 中古バス販売および買取り業
- (7) 事業規模

	単位	H25/10月	H26/10月	H27/10月
売上高	百万円	758	922	1,000
従業員数	人	12	12	13

- (8) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
 環境管理責任者兼事務局 総務部 鈴木 徳美
 連絡先 TEL:0545-71-8191 FAX:0545-71-8255



[2]対象範囲、対象期間、推進組織、役割分担

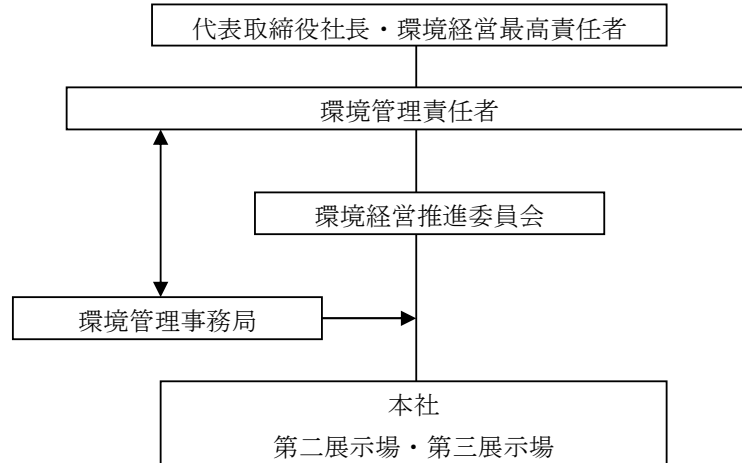
(1) 対象範囲

- ①適用する事業所 ・本社 ・第二展示場 ・第三展示場
 ②適用構成員 ・当社役員、従業員(派遣社員、パート含む)

(2) レポート対象期間

平成26年11月1日から平成27年10月31日

(3) 推進組織



(4) 役割分担

最高責任者 (社長)	環境マネジメントを計画的に実施するための内容を確認、決定する。 ① 管理責任者をはじめ必要な責任者を任命する。 ② システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する。 ③ 基本理念・基本方針を制定し基本的な環境目標を設定する。 ④ システムの構築・運用に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、必要あれば改定を指示する。
環境管理責任者	環境マネジメントシステムの推進・維持をする。 ① 経営資源の合理的・効果的な運用を図り、環境経営に関する委員会組織(推進委員会)を運営する。 ② 最高責任者による見直しのための情報として、システムの構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
推進委員会	環境管理責任者を委員長として(随時)実施する。 ・各GLで構成し環境マネジメントシステム及び環境改善に関する会議を実施する。
事務局	・環境管理責任者を全面的に補佐する。

[3]環境方針

芙蓉バス販売株式会社 環境方針

基本理念

芙蓉バス販売株式会社は、中古バスの販売および買取りを通して、人にも環境にも優しい企業としての社会的責任を果たしてまいります。

行動指針

当社は、すべての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、以下の環境保全活動を推進します。

1. 中古バスの入出庫時の点検を正確に実施し、事故撲滅に貢献していきます。
2. 中古バスの入出庫時の点検業務において、環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境保全実績が継続的に改善できるように推進します。
3. 中古バス販売および買取りに関する環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守することはもとより、可能であれば、自主管理基準を設けて環境管理レベルの向上を図ります。
4. 次の事項を重点的なテーマとして、環境目標を設定し、必要があれば目標を見直すなどの効果的な取組みを行います。
 - (1)「環境への負荷チェック」の結果、著しい項目に対する改善目標管理。特に燃料使用量については、車両別の燃費を向上させます。
 - (2)廃棄物排出については可能な限り分別して、リサイクル活動を活性化していきます。
 - (3)電力使用量、総排水量、化学物質使用量については業務内容および業務量によって増減するため目標管理とせず、使用量のみを把握します。
 - (4)グリーン購入を積極的に推進します。
 - (5)品質管理の徹底が環境経営に資するという考えのもと、クレーム対応に対しては誠意をもって取り組み、顧客満足度を向上させていきます。
5. ハイブリッドバス等環境にやさしい中古バス販売および買取りを通じて環境保全に協力し、社会貢献活動を推進します。
6. アイドリングストップのステッカーを中古バスに掲示することにより、環境保全に協力していきます。
7. 環境教育・訓練、社内広報活動の実施により、全ての構成員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
8. この環境方針は、社外の人にも公開します。

平成 26 年 11 月 1 日制定
芙蓉バス販売株式会社
代表取締役 遠藤 敬明

[4]環境目標


なお、当社の中長期の環境目標は以下の通りである。

	No.	テーマ	単年度別目標 (27/4月～30/3月)
原則とする目標	1	電力使用量の削減	当社の電力使用量は、業務内容および業務量に伴って増減するため削減目標は立てず、節電に努めながら使用量のみを把握する。
	2	燃料使用量の削減	① 平成 27 年度は、車両別の燃費を平成 26 年度比 1 km/ℓ向上させる。 ② 平成 28 年度は、車両別の燃費を平成 26 年度比 2 km/ℓ向上させる。 ③ 平成 29 年度は、車両別の燃費を平成 26 年度比 3 km/ℓ向上させる。
	3	廃棄物排出量削減	当社が排出する産業廃棄物量は、業務内容および業務量に伴って増減するため削減は立てない。排出量を把握し「産業廃棄物」の分別活動を実施する。
	4	総排水量削減	当社が使用する水使用量は、業務内容および業務量に伴って増減するため削減目標は立てない。節水に努めながら、使用量のみを把握する。
	5	化学物質使用量削減	当社で使用する化学物質に「P R T R 法」に該当するものはごく少量のものを除いてほとんどないため、使用量のみを把握する。
	6	グリーン購入比率の向上	当社ではグリーン購入法で定められた製品を積極的に購入する。 数値目標は定めない。
経営上の目標	7	苦情・事故の削減	業務全体における苦情・事故件数「0 件」を維持する。

[5]環境活動計画(次年度分を含む)

作成日	環境管理責任者	環境管理事務局
26. 11. 1	鈴木	鈴木

	推進項目 (推進責任者)	推進内容	実施予定											
			平成 27 年度											
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
1	電力使用量の削減 (鈴木徳美)	<p>【全部署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間未使用のパソコン・コピー機等の電源オフ ・退社時のパソコン・コピー機等の電源オフ確認 ・節電モードの利用 ・トイレ不使用時、通路照明不要時の消灯 ・会議室、応接室等の不使用時の消灯 ・その他、不使用場所の消灯・減灯 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な冷暖房温度(室内温度)の見直し ・節電対応型機種への変更ならびに導入の検討 ・節電策の調査、計画、実行の変更ならびに導入の検討 	<p>【全部署】</p> <p>「電力使用量削減パトロール」チェックリスト</p> <p>同左チェックリスト継続 (項目について再検討)</p> <p>【その他】</p> <p>冬場 20 度以下 → 夏場 28 度以上 →</p>											
2	燃料油使用量の削減 (谷山繁)	<p>【全部署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの推進 急発進、急ブレーキはしない。 加減速の少ない運転をする。など ・配送ルート効率化 ・運転記録の確認・指導 ・運転日報の作成 	<p>【全部署】</p> <p>エコドライブ推進</p> <p>チェック・指導</p>											
3	廃棄物排出量の削減とリサイクル (渡辺民男)	<p>【全部署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定められた方法に従って分別 ・種類毎の廃棄物置場に収集、分別 ・各廃棄箱に表示 ・混合物の分別によるリサイクル化向上 	<p>周知徹底、活動開始</p>											
4	総排水量の維持管理 (勝間田英)	<p>【全部署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗車時の節水 ・洗い物、お茶出し等の節水 ・使用後の蛇口の閉栓 ・水漏れチェック 	<p>周知徹底</p>											
5	化学物質使用量の維持管理 (渡辺民男)	<p>【全部署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在庫管理の徹底 	<p>在庫管理</p>											
6	グリーン購入の推進 (大石奈美)	<p>【全部署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「グリーン購入リスト」の作成 ・環境への負荷が少ないものを選んで購入 ・導入コスト削減に向けて業者と交渉 ・情報収集を継続的に行う 	<p>進捗管理</p>											

7	事故・ クレームの 低減 (遠藤崇隼)	【業務課】【管理課】 ・報告・連絡・相談の徹底 ・事故・クレームデータの収集 ・過去の事故・クレームリストの作成 ・要員分析、対策立案、責任者評価、有効性 検証 ・事故・クレーム会議での情報交換	「事故・クレーム」件数集計・定期的に会議を実施 
---	------------------------------	--	--

※次年度も上記と同様の計画で実施します。

[6]環境活動計画の取組結果とその評価

平成27年度										
環境活動計画	推進担当者	実施者		11・12 月	1・2 月	3・4 月	5・6 月	7・8 月	9・10 月	次年度の取組
①電気使用量の削減【維持管理】										
・使用していない機器の電源オフ	鈴木	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
・不要な照明の消灯	鈴木	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
・適正な室温(夏季:28℃±1℃冬季:20℃±1℃)の維持	鈴木	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
②ガソリン・軽油使用量の削減										
・エコドライブの徹底	谷山	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
・不必要なアイドリングの禁止	谷山	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	◎	◎	◎	◎	◎		
・不要な荷物を乗せない	谷山	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	◎	◎	◎	◎	◎		
・急発進・急加速の禁止	谷山	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	◎	◎	◎	◎	◎		
・計画的・効率的な走行ルートの設定	谷山	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	◎	◎	◎	◎	◎		
・タイヤの空気圧のチェック	谷山	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	◎	◎	◎	◎	◎		
③廃棄物排出量の削減【維持管理】										
・規定の分別方法の遵守	渡辺	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
・産業廃棄物置場の表示徹底	渡辺	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
・マニフェスト管理の徹底	渡辺	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	◎	◎	◎	◎	◎		
・両面印刷の活用	渡辺	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	◎	◎	◎	◎	◎		
・再生封筒・用紙の活用	渡辺	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
④総排水量の削減【維持管理】										
・不必要な水の垂れ流しの防止	勝間田	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	◎	◎	◎	◎	◎		
・水道配管からの漏水防止	勝間田	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	◎	◎	◎	◎	◎		
⑤化学物質使用量の削減【維持管理】										
・在庫管理の徹底	渡辺	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
⑥グリーン購入比率の向上										
・「グリーン購入リスト」の作成	大石	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
・情報収集の継続的实施	大石	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
⑦苦情・事故の削減										
・過去の苦情・事故の件数・内容を分析	遠藤	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		
・経営品質向上・労働安全会議の実施	遠藤	全社員	計画	●	●	●	●	●	●	継続
			実績	○	○	○	○	○		

計画欄:● ⇒実施する

※次年度以降の計画も同様とする。

[7]環境目標の達成状況(実績)

過去3年間の比較		25年度 24/11月～ 25/10月	26年度 25/11月～ 27/10月	27年度 26/11月～ 27/10月	26年度対比	達成 状況
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO ₂ /年)	84,962	75,827	86,683	+14.3%	×
<電気使用量>	量(kwh/年)	28,438	26,033	25,636	▲1.6%	○
<灯油>	量(ℓ/年)	144	198	273	+37.8%	—
<LPG>	量(kg/年)	123.6	113.9	145.1	+27.3%	—
<ガソリン>	量(ℓ/年)	12,476	10,866	11,590	+6.6%	○
<軽油>	量(ℓ/年)	15,587	13,953	17,419	+24.8%	○
車両燃費	総量(km/ℓ/年平均)	11.42	17.35	16.34	▲1.01 km/ℓ	×
一般廃棄物排出量	総量(kg/年)	3,772	3,852	3,599	▲6.6%	○
産業廃棄物排出量	総量(kg/年)	1,480	1,480	2,960	+100%	○
総排水量	総量(m ³ /年)	271	266	222	▲16.6%	○
化学物質使用量	総量(kg/年)	1.14	12.74	3.97	▲68.9%	○
グリーン購入	比率(製品/年)	—	—	30	—	○
事故・クレーム	件数(件/年)	0	0	0	±0%	○

※購入電力の排出係数:0.505を使用

【3年間の比較】

(1) 二酸化炭素排出量

- ① 電気の実績は 25,636kwh(平成 26 年度対比▲1.6%)と微減した。主要因は従業員の節電に対する意識が高まったことによる。
- ② ガソリンの実績は 11,590ℓ(同+6.6%)と増加した。主要因は遠方へ営業活動をしたことによる。
- ③ 軽油の実績は 17,419ℓ(同+24.8%)と大幅に増加した。主要因は売上増加に伴い商品バスの給油量が増加したことによる。
- ④ 全車両平均燃費の実績は 16.34 km/ℓ(同▲1.01 km/ℓ)であった。目標は達成できなかったものの引き続きエコドライブを心がけていく。

(2) 一般廃棄物排出量

エコアクション21の活動前より分別活動を徹底しており、実績は 3,599 kg(同 6.6%)横ばいである。

(3) 産業廃棄物排出量

実績は 2,960 kg(同+100%)と増加した。当社の排出量は 2,960 kgと少ないものの、引き続き分別活動を継続していく方針。

(4) 総排水量

実績は 222 m³(同▲16.6%)と減少した。バス洗車時に水道を出したまま作業をしないよう従業員に徹底した。

(5) 化学物質使用量

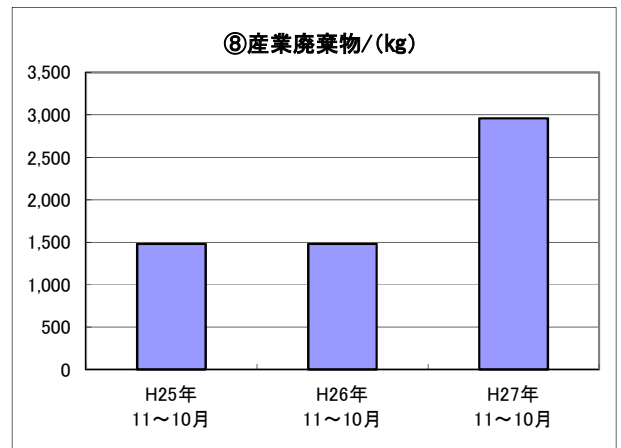
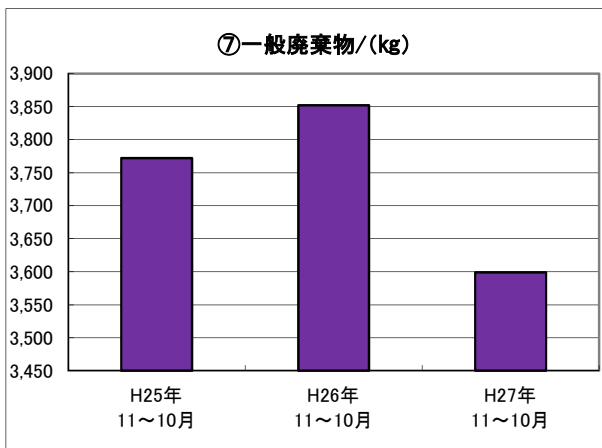
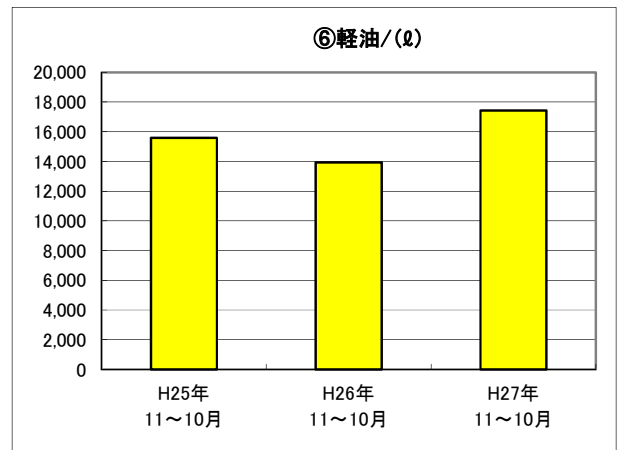
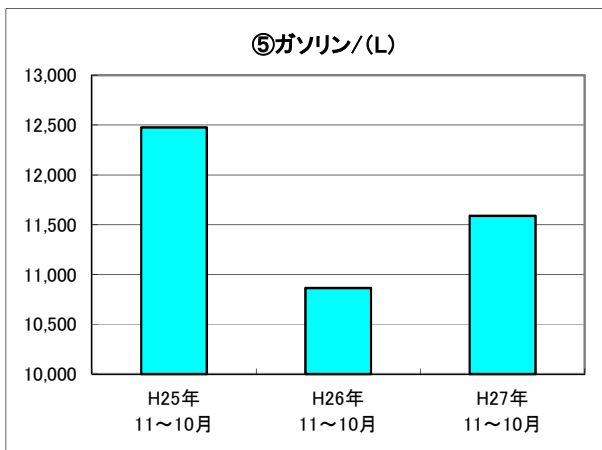
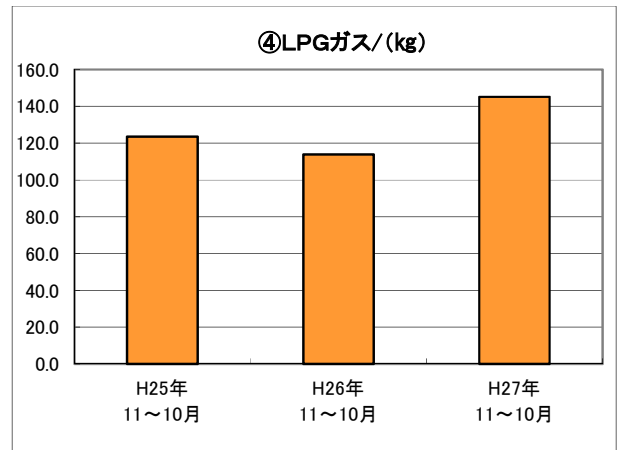
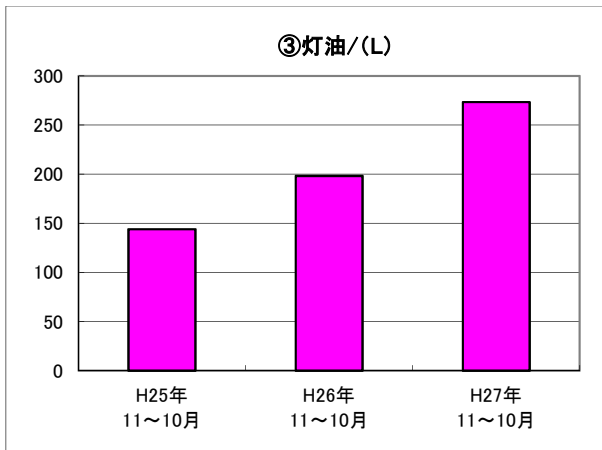
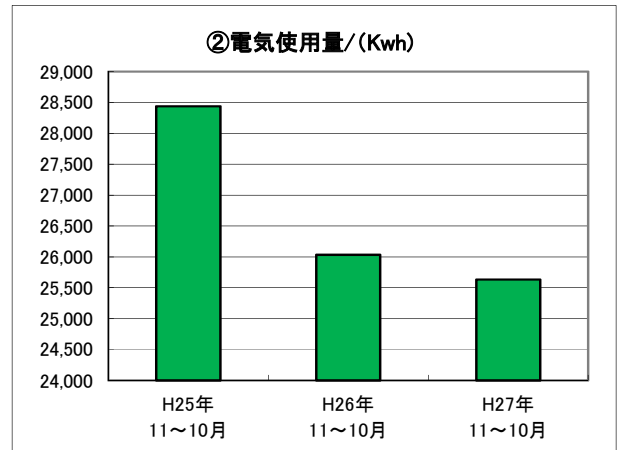
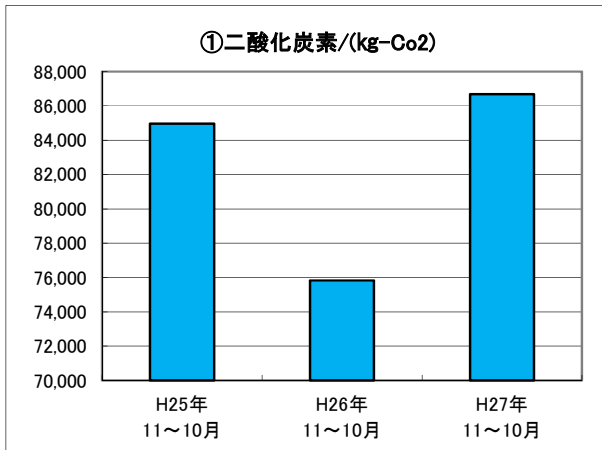
PRTR法に該当する化学物質の使用実績は 3.97 kg(同▲68.9%)であった。引き続き、在庫管理の徹底を継続して行っていく方針。

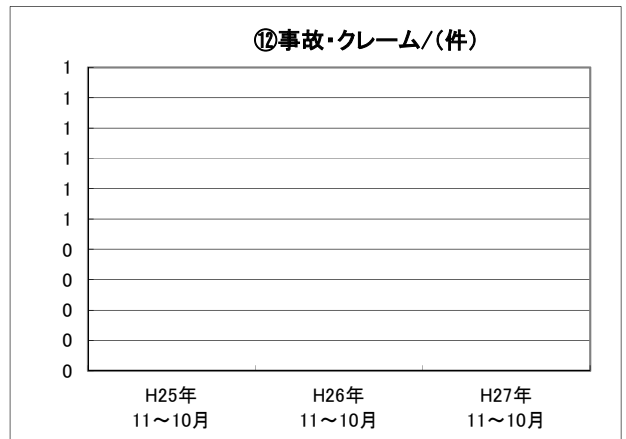
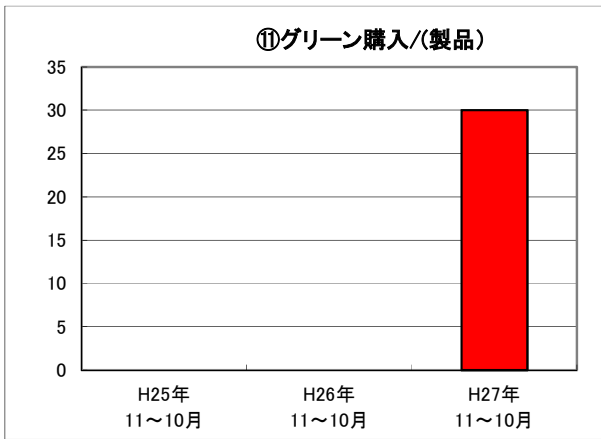
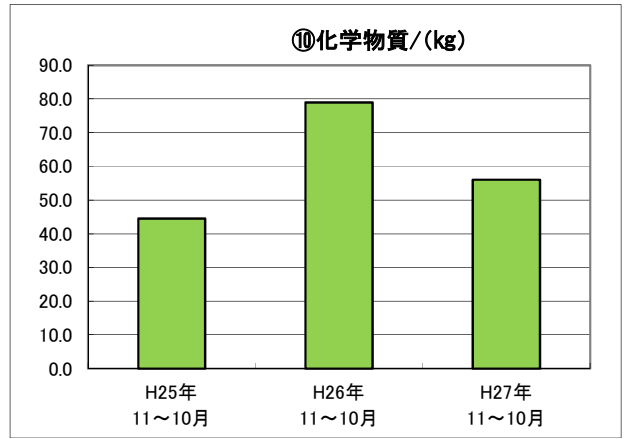
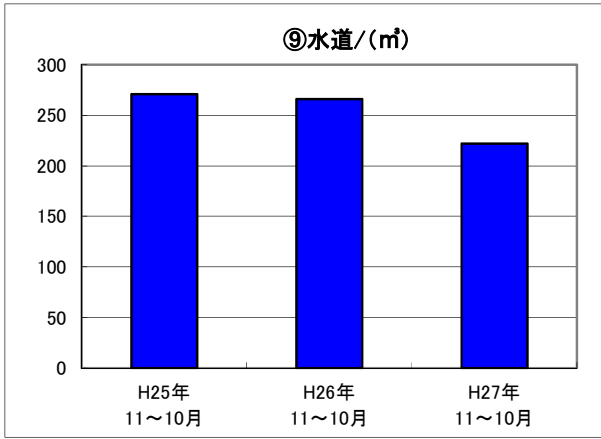
(6) グリーン購入

現在の購入状況を分析し、購入リストを作成した。現在 30 製品を購入中。

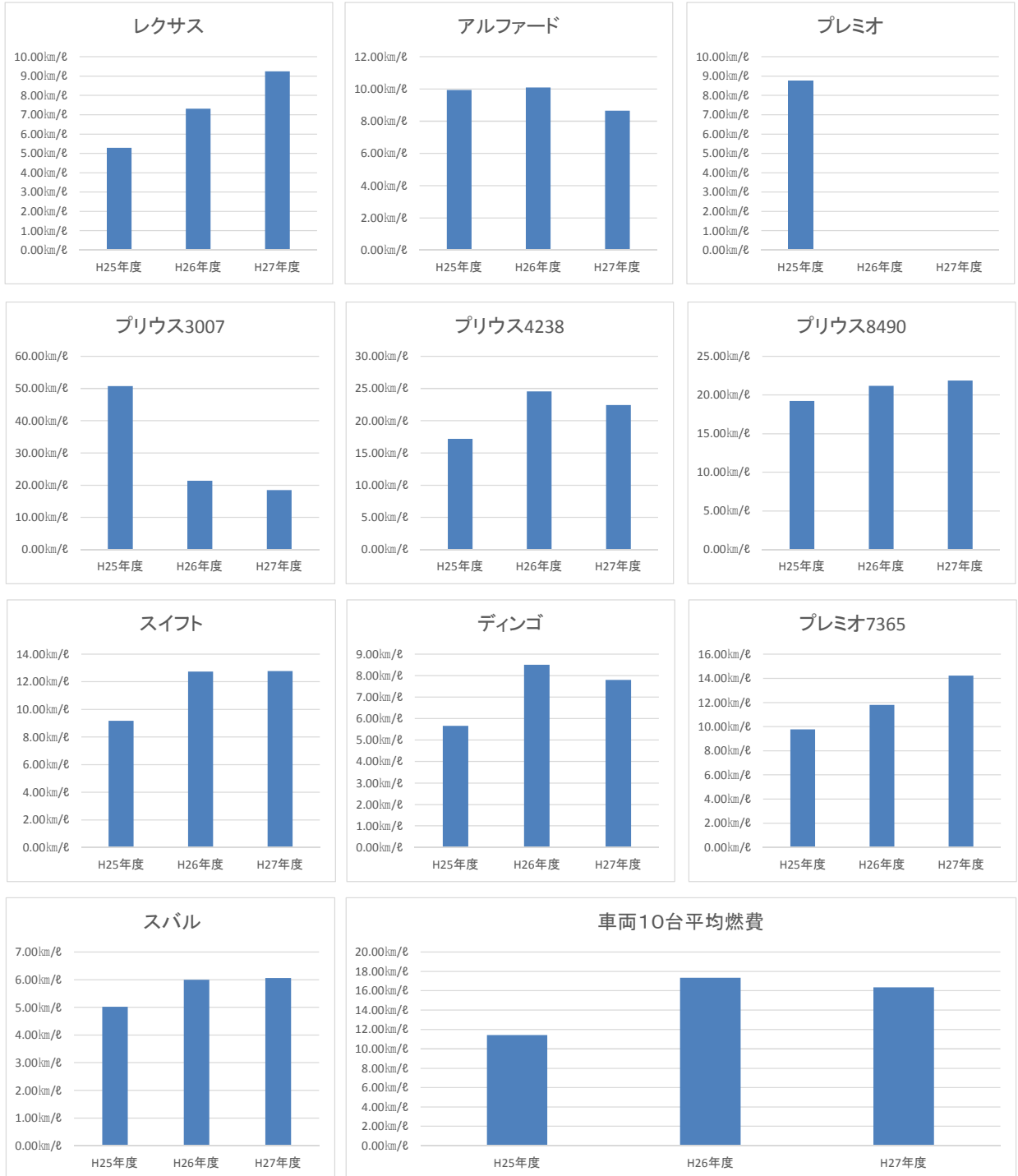
(7) 事故・クレーム削減

件数は過去3年間「ゼロ」である。引き続き社内で情報共有を徹底し、件数「ゼロ」を維持していく方針。





<燃費データ>



※プレミオについては平成 26 年 7 月に処分した。

[8]環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規制の遵守・訴訟等の有無

環境関連法規制の遵守状況を確認した結果、違反はなかった。また、関係機関等から特に指摘等も無かった。くわえて訴訟等も同様に1件も無かった。

(2)当社が適用される主な環境関連法規制等

【主な環境法規制等一覧表】

名称	当社の現状	要求事項	対応状況
浄化槽法	50人槽(応接事務所) 7人槽(本社)	① 設置の届出 ② 法定検査(11条) ③ 保守点検 ④ 定期清掃	①届出済 ②③④対応済
廃棄物の処理および清掃に関する法律(廃棄物処理法)	外部業者への委託	①産廃業者等との委託契約書締結 ②廃棄物置場の適正保管(表示看板設置) ③マニフェストの発行・返却・保管 ④マニフェストの行政報告(年1回) ⑤収集運搬車のステッカーの表示	対応済み
消防法	潤滑油等	① 管量は指定数量1/5以下	届出対象外
PRTTR法	塗料等	① 年間使用量1t以上は届出	届出対象外
自動車リサイクル法	所有自動車:10台	①リサイクル料金支払い	対応済み
グリーン購入法	購買品の一部で実施	①できる限り、環境物品等を選択するよう努める	対応済み

[9]環境上の緊急事態への準備及び対応

油類の保管量が少量のため、油類流出を想定した訓練は実施していない。

[10]代表者による全体評価と見直し

見直し日:平成27年11月1日

- (1) ヒアリングチェック・内部監査の結果・法令順守
エコアクション21の構築・運用状況は、おおむね良好である。
当社では内部監査は実施していない。
- (2) 苦情を含む利害関係者からの重要な情報
苦情を含む利害関係者からの重要な情報はない。
- (3) 組織の環境パフォーマンス
組織の環境パフォーマンスはおおむね良好。
社員の環境への取組み状況は、パトロールチェック結果より良好と判断。
- (4) 環境目標の達成
二酸化炭素排出量については、売上高増加に伴うガソリンおよび軽油使用量が増えたことが原因と考えられる。
- (5) 問題点の是正処置および予防処置の状況
問題点の是正処置および予防処置はない。
- (6) 前回までの見直しの結果に対するフォローアップ
代表者による見直しは、今回が初めてであり、前回に対するフォローアップはない。
- (7) 環境関連法規等を含む周囲の状況の変化
環境関連法規等の制定・改正・廃止はない。周囲の状況変化も特にない。
- (8) 改善のための提案・その他
改善のための提案も特にない。

【見直し事項の有無】

項目	確認	コメント
1. エコアクション21文書類	■	特段の見直しをする必要はない。
2. 環境目標・計画	■	特段の見直しをする必要はない。
3. 環境活動計画	■	特段の見直しをする必要はない。
4. 組織体制	■	特段の見直しをする必要はない。
5. 環境経営システム	■	特段の見直しをする必要はない。
6. その他	■	特になし。

【トップマネジメントによる確認・指示】

環境目標の達成は、コストダウンや業務レベルの向上につながるため、全社員が一丸になって取組むよう指示をした。また、二酸化炭素排出量については、総量削減ではなく原単位での削減方法を検討することを合わせて検討していきたい。

[11]環境への取り組み

本社敷地との接道を毎日清掃しております。また、敷地内に植栽することで微力ながら地域に色を加えております。



